

無形資産ワーキンググループ(WG)の立ち上げ

1 WG立ち上げの理由(背景)

当委員会は、平成17年7月29日に公表した組織再編に関する会計基準及び適用指針の公開草案の公表に当たり、「当委員会では、本公開草案が会計基準及び適用指針として公表された後に、無形資産に関する会計基準の開発を進めるため、必要な研究を行う予定である。」としている。

また、平成17年9月23日に開催された国際会計基準審議会(IASB)との会計基準のコンバージェンスに向けた共同プロジェクトの第二回会合において、「無形資産についても、IASBとの将来の議論のために、日本サイドで準備のプロジェクトを立ち上げることで合意」し、その旨を公表している。

これらを踏まえて、無形資産WGを立ち上げることとしたい。

2 WGの活動内容(検討項目)

	項目	備考
(1)	日本における無形資産に関する会計基準等の整理	最初に(1)及び(2)を検討したうえで、(3)以下を検討する。 なお、は、IASBとFASBとのコンバージェンスの状況を踏まえて検討する。
(2)	無形資産の定義(識別規準)	
(3)	認識及び測定 単独の取得 企業結合による取得(のれんと無形資産の区分) 内部創出の無形資産(開発局面)	
(4)	耐用年数	
(5)	開示	

3 スケジュールと将来的な取り組み

平成18年2月 無形資産WGの立ち上げ

平成18年3月 第3回 コンバージェンス会議(WGの立ち上げ、活動予定の説明)

平成18年3~4月 第1回 WG開催

それ以降 3~4回程度開催

平成18年9月頃 第4回 コンバージェンス会議(報告)

以上